

2018

全国コミュニティ・スクール研究大会in三笠

大会テーマ:「ふるさと回帰」

～地域の未来を創る子どもを育むコミュニティ・スクール～

中標津町の教育 CSと小中一貫教育

期日:平成30年10月12日(金)

会場:三笠市公民館

中標津町教育委員会

「牛乳で乾杯条例」の町



11,189世帯 23,483人

7校(4小、2中、1義務)

H30年7月末日

【平成27年度】

- 1 中標津町教育力向上推進委員会の立ち上げ
(構成:各校代表者・町PTA役員)
- 2 登別市への視察、報告会の実施
- 3 小中一貫教育研修会の開催

※小中一貫教育が求められる背景について学び、開校した計根別学園から成果・課題を聴き取る

2018/10/31

【平成28年度】

- 1 中標津町教育力向上推進委員会での協議
①学力向上G, ②一貫教育G, ③CSG
(各校代表が各Gに所属)
- 2 東京三鷹市への視察、報告会の実施
- 3 小中一貫教育研修会の開催

※「一貫」と「CS」の親和性の高さ、「推進委員会」自体を「中学校区ごと」にする有効性

【平成29年度】

- 1 中標津町教育力向上推進委員会での活動
 - ① 広陵中, 中標津東小, 俵橋小
 - ② 中標津中, 中標津小, 丸山小
 - ③ 計根別学園
- 2 広島県呉市への視察、報告会の実施
- 3 小中一貫教育研修会の開催

※各中学校区の学校代表者で協議を進めることで、校区の課題や解決のための具体案が。



中標津町におけるコミュニティ・スクール

ア 目的

中標津町のより良い生涯学習社会実現のため、町立学校での教育を学校単位で完結させることなく、**保護者・家庭・地域の教育力を結集した総意の教育**とする。

イ 背景

【学校の側から】

それぞれの保護者には、子どもに対する思いや学校への関わりに強い意識があるが、PTAの活動については形骸化や停滞が語られている。学校から求められることに応じてだけでなく、**より積極的に学校教育全体に関わってもらうことによる教育の活性化が必要**である。地域社会の学校という視点により、本当の意味で開かれた学校とすべきである。

【地域の側から】

学校は敷居が高く、教育は学校(教師)に任せておけばいいという意識が蔓延してきた。しかし、学校では担当者(校長・教師)も数年で入れ替わり、地域との連携も深まりづらい。地域にとっては、**地域づくりと地域の活性化に学校は必要不可欠なものである**。そこで、制度として学校と地域が連携する必要がでてきた。**地域は、責任をもって学校教育に関わることで地域の子供達のより良い成長を願うことになる**。

ウ 方針

- ・全ての小・中学校で平成29年度中の導入を目指す。
- ・初期段階では学校単位でよいと考えるが、**学校同士また地域の中で広い単位での組織が必要となれば、議論する**。
- ・PTAや地域への説明と理解が必要であり、学校・PTA・地域・教育委員会事務局と協力して行う。

エ コミュニティ・スクールの魅力

子供にとっての魅力	<ul style="list-style-type: none">● 子供たちの学びや体験活動が充実します。● 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。● 地域の担い手としての自覚が高まります。● 防犯・防災等の対策によって安心・安全な生活ができます。
教職員にとっての魅力	<ul style="list-style-type: none">● 地域の人々の理解と協力を得た学校運営が実現します。● 地域人材を活用した教育活動が充実します。● 地域の協力により子供と向き合う時間が確保できます。
保護者にとっての魅力	<ul style="list-style-type: none">● 学校や地域に対する理解が深まります。● 地域の中で子供たちが育てられているという安心感があります。● 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。
地域の人々にとっての魅力	<ul style="list-style-type: none">● 経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながります。● 学校が社会的つながり、地域のよりどころとなります。● 学校を中心とした地域ネットワークが形成されます。● 地域の防犯・防災体制等の構築ができます。

中標津町校舎分離型小中一貫校開校に向けたロードマップ

平成29年8月

	平成29年度(2017)	平成30年度(2018)	平成31年度(2019)	平成32年度(2020)
学校経営の方針	■学校長間で情報交換、経営方針・子ども像などの部分共有化	■新たな経営方針・子ども像を一貫教育の校長間で構築 ■小中のつながりを考えた学校教育目標の設定	■9年間を見通した学校経営方針に基づき、運営方針・その他を一貫校の担当者で協議し完成	■小中一貫校の開始 中標津学園(仮)中小、丸山、中中旭ヶ丘学園(仮)東、俵橋、広陵
学校運営	■校長間・教頭、教務主任等を中心として一貫校の連絡調整を開始 ■中標津町教育力向上推進委員会にて今後のロードマップの検証を行う	■一貫校教務主任間での行事予定表等の検討 ■小中間の共通実践項目の設定 ■合同研修会、一部授業交流の開始	■小中のつながりを考慮した指導計画の作成 ■共通実践項目の評価・改善	■統一性のある学校教育目標 ■小中をつなぐ指導計画の実践
教育課程	■小中9年間で伸ばしたい力の交流	■一貫校開校に向けた教育課程編成へ向けた具体的な作業スケジュールの検討と計画の作成 ■小中一貫を意識した行事の精選と見直し ■C R T等の活用を通じた一貫校における評価の研究	■小中各校年間指導計画の作成 ■9年間の系統を意識した道徳の年間指導計画の作成と授業実践 ■9年間を見通した特別活動の年間指導計画の作成	■統一性、整合性のある教育課程編成による教育実践の開始
学習指導	■小中の授業等の参観 ■小学校における中学校英語教員の乗り入れの検討	■授業像の共有 ■学習規律の共通理解	■9年間を見通した学習の系統表作成	■一貫教育を意識した授業実践
校内研修	■小中一貫教育に関する研修の推進	■小中合同研修会の開始	■小中合同の校内研修の推進	■小中一貫教育による研修の充実と授業実践
生徒指導	■児童生徒像の共有	■児童生徒の実態の把握と分析 ■特別支援の児童生徒の打ち合わせ(体制・資料作成等)	■特別活動(児童生徒会)を中心とした行事の連携	■一貫教育を念頭に置いた学校行事等の工夫改善
コミュニティ・スクール等	■各校それぞれのCSの取組	■地域及び保護者への一貫校・一貫教育についての説明	■町教委→プレート、人事交流、管理規則の整備、HPの作成	■一貫教育校としてのCS会議開催(各校それぞれのCSは存続)

※校舎一体型小中一貫校(計根別学園)は、既に稼働

【平成32年度】

◆中標津町3学園構想

①(仮)旭ヶ丘学園 広陵中学校

中標津東小学校、俵橋小学校

②(仮)中標津学園 中標津中学校

中標津小学校、丸山小学校

③計根別学園

※各校の学校運営協議会をまとめた中学校区の学校運営協議会の立ち上げを目指してゆく。



義務教育学校としての取組

中標津町立計根別学園



中標津町立計根別学園

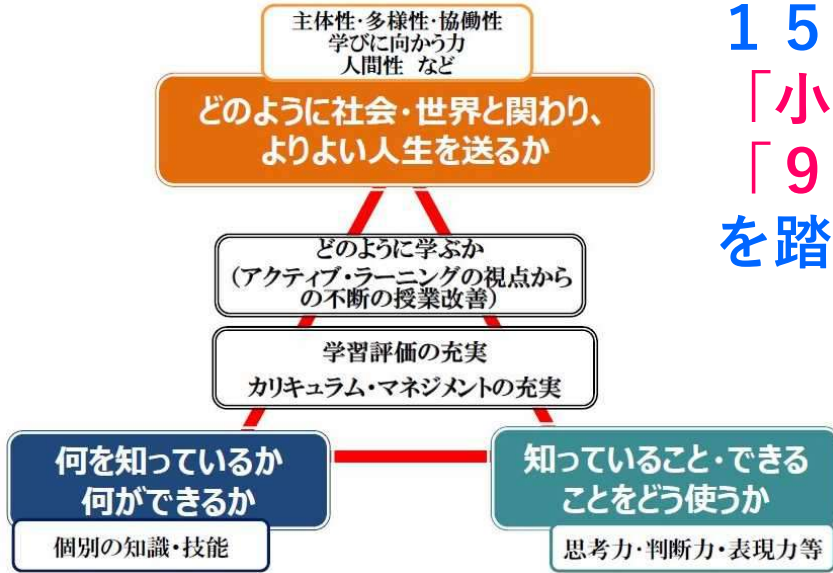
- H27年度 計根別小,西竹小,計根別中が統合,一貫校誕生
- H28年度 義務教育学校として新たなスタート
- H29年度 コミュニティ・スクールがスタート



■小中一貫教育の必要性

連続した学びの中で確かな学力や社会性を含めた総合的な人間力を形成し、自立した人間を育成する。

15歳の姿を共有し、
「小中の独自性」
「9年間の連続性」
を踏まえた一貫性のある教育



「夢を紡ぐ力」(9年間で身に付ける力)

初等部
(1~4年生)

中等部
(5~7年生)

高等部
(8~9年生)

計根別学園

各期の発達課題	1~4年(初等部)		5~7年(中等部)		8~9年(高等部)																																																																														
	1年・2年	3年・4年	5年・6年	7年・8年	9年																																																																														
身に付けさせたい能力と要素	<ul style="list-style-type: none"> 小学校生活に適応する。 身の回りの事象への関心を高める。 自分の好きなことを見つけて、のびのびと活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちと協力して活動する中がかかわりを深める。 自分の持ち味を発揮し、役割を自覚する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の役割や責任を果たし、役立ち喜びを体得する。 集団の中で自己を生かす。 社会と自己のかかわりから、自らの夢や希望をふくらませる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己と他者の違いに気づき、尊重しようとする。 集団の一員としての役割を果たそうとする。 将来の夢を達成する上で障害の克服に挑戦し、挑戦する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己と他者の個性を尊重し、人間関係を円滑に進める。 社会の一員としての義務と責任を理解する。 将来設計を達成するための困難を克服し、それを克服する努力に向かう。 																																																																														
人間関係形成・能力	<ul style="list-style-type: none"> 多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを伝えることができるように、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力 	<ul style="list-style-type: none"> ①他者を理解する ②他者に働きかける ③他者と協働する ④礼儀をわきまえる ⑤リーダーシップをとる 	<ul style="list-style-type: none"> ▽友達と仲良く遊び助け合う。 ▽友達の前で大きな声で発表したり、音読したりする。 ▽家族や先生に自分の気持ちを伝える。 ▽大きな声であいさつや返事をする。 ▽「ありがとう」「ごめんなさい」を言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ▽友だちの良いところを認め、励まし合う。 ▽友だちと協力して学習や生活に取り組む。 ▽友だちに自分の気持ちを伝える。 ▽自分から進んであいさつする。 	<ul style="list-style-type: none"> ▽異年齢集団の活動に進んで参加し、役割と責任を果たそうとする。 ▽誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って考え、行動する。 ▽他者に配慮しながら積極的に人間関係を築こうとする。 ▽人間関係の大切さを理解し、コミュニケーションスキルの基礎を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ▽自分から役割や仕事を分けたり、分担したりしながら、周囲と力を合わせて行動する。 ▽リーダーとフォロワーの立場を理解し、チームを組んで互いに支え合いながら仕事をする。 																																																																													
自己理解・自己管理能力	<ul style="list-style-type: none"> ▽自分が「できること」「重要なこと」「したいこと」について、社会と相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき、主体的に行動すると同時に自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぶようとする力 	<ul style="list-style-type: none"> ①自分をよきを知る ②自分を大切にすること ③自分らしさを生かす ④役割や責任を果たす ⑤がまんしてやり抜く ⑥自ら進んで学習する ⑦望ましい学習態度を身に付ける 	<ul style="list-style-type: none"> ▽自分の好きなことやできることが言える。 ▽多くの自然体験や運動、音楽などを通して自分の好きなもの、大切なものを持つ。 ▽わがまましないで規則正しい生活をする。 ▽好き嫌いでなくても何でも食べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ▽自分のよきを見つける。 ▽多くの自然体験や運動、音楽などを通して自分のやりたいことを考え、進んで取り組む。 ▽約束や社会のままりを守る。 ▽自分でやるよう決めたことは粘り強くやり続ける。 ▽食べ物を大切にし、生産者や自然への感謝と敬意を伝える。 	<p>【夢を紡ぐ力】自己評価アンケート(5・6年用)</p> <p>次の質問に対し、あてはまる数字を○で囲んでください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="5">年 氏名</th> </tr> <tr> <th>とてもよくあてはまる</th> <th>よくあてはまる</th> <th>まあまああてはまる</th> <th>あまりあてはまらない</th> <th>まったくあてはまらない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 たてわりの活動に進んで参加し、自分の役割を果たそうと努力できた。</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 思いやりの心を持ち、相手の立場に立って考えて行動することができた。</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 自分の気持ちを友達に話すことができた。</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 集団生活でのマナーを身に付けることができた。</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 自分の長所と短所を知っている。</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6 多くの芸術や文化に触れ、体験を広げることができた。</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7 目標を立て、あきらめずに努力することができた。</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8 食に関する理解を深めることができた。</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9 食事のマナーを身に付けることができた。</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10 自分で課題を見つけて、家庭学習に取り組むことができた。</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11 自分から進んで日常的に読書をすることができた。</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			年 氏名					とてもよくあてはまる	よくあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	1 たてわりの活動に進んで参加し、自分の役割を果たそうと努力できた。	4	3	2	1		2 思いやりの心を持ち、相手の立場に立って考えて行動することができた。	4	3	2	1		3 自分の気持ちを友達に話すことができた。	4	3	2	1		4 集団生活でのマナーを身に付けることができた。	4	3	2	1		5 自分の長所と短所を知っている。	4	3	2	1		6 多くの芸術や文化に触れ、体験を広げることができた。	4	3	2	1		7 目標を立て、あきらめずに努力することができた。	4	3	2	1		8 食に関する理解を深めることができた。	4	3	2	1		9 食事のマナーを身に付けることができた。	4	3	2	1		10 自分で課題を見つけて、家庭学習に取り組むことができた。	4	3	2	1		11 自分から進んで日常的に読書をすることができた。	4	3	2	1	
	年 氏名																																																																																		
	とてもよくあてはまる	よくあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない																																																																														
1 たてわりの活動に進んで参加し、自分の役割を果たそうと努力できた。	4	3	2	1																																																																															
2 思いやりの心を持ち、相手の立場に立って考えて行動することができた。	4	3	2	1																																																																															
3 自分の気持ちを友達に話すことができた。	4	3	2	1																																																																															
4 集団生活でのマナーを身に付けることができた。	4	3	2	1																																																																															
5 自分の長所と短所を知っている。	4	3	2	1																																																																															
6 多くの芸術や文化に触れ、体験を広げることができた。	4	3	2	1																																																																															
7 目標を立て、あきらめずに努力することができた。	4	3	2	1																																																																															
8 食に関する理解を深めることができた。	4	3	2	1																																																																															
9 食事のマナーを身に付けることができた。	4	3	2	1																																																																															
10 自分で課題を見つけて、家庭学習に取り組むことができた。	4	3	2	1																																																																															
11 自分から進んで日常的に読書をすることができた。	4	3	2	1																																																																															
対応能力	<ul style="list-style-type: none"> し、解決することができる力 	<ul style="list-style-type: none"> ①計画を実行する ②情報を正しく理解し、活用する 	<ul style="list-style-type: none"> ▽作業の準備や片付けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ▽計画づくりの必要性に気付き、作業の手順が分かる。 																																																																															

「夢を紡ぐシート」をもとに
☆ 15歳の姿を見据えた系統性のある目標設定
☆ 発達段階、学年段階に応じた指導の工夫
☆ 学期の途中で自己評価→指導の改善

■ 「目指す子ども像」の実現に向けて 9年で培う「夢を紡ぐ力」



- ・ 多様な他者の考えや立場を理解する力
- ・ 考えを聴き、考えを伝える力
- ・ 積極的に所属集団を高める力
- ・ 自分（未来）に対する肯定的理解
- ・ 自分の思考や感情を律する力
- ・ 課題を発見する力、解決する力
- ・ 主体的に判断して行動する力

常に何を目標しているのかという根本に立ち返りながら、児童生徒の状況を踏まえて、**取組の検証・改善**を繰り返している。

P D C A サイクルに基づく取組の改善を意識して

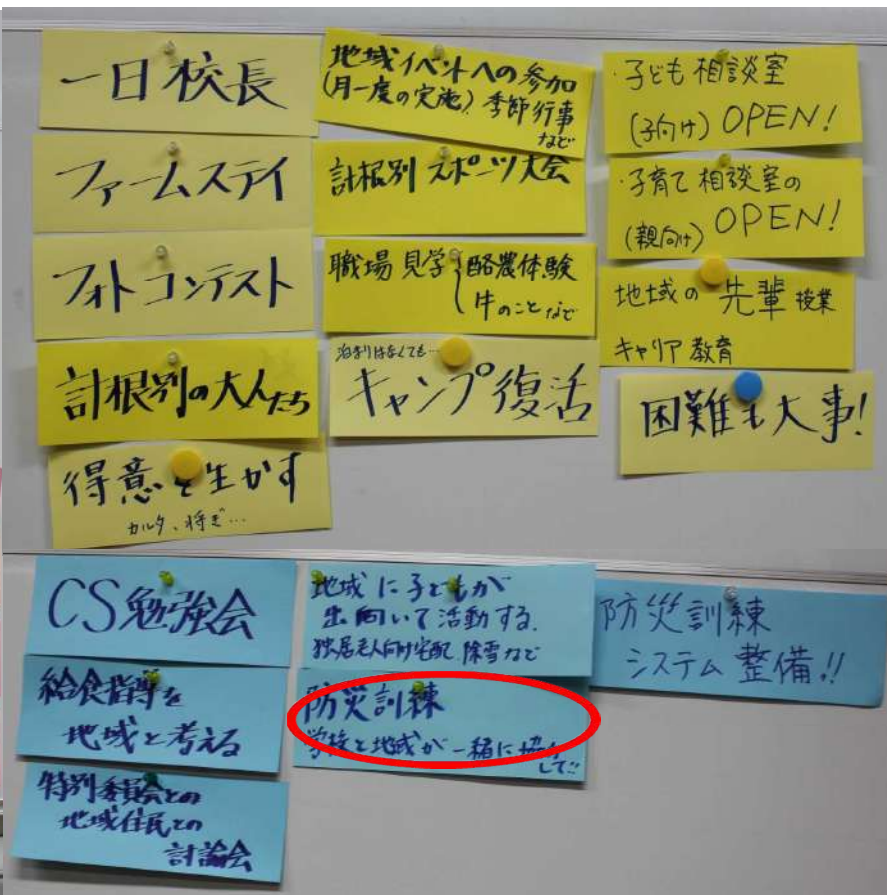
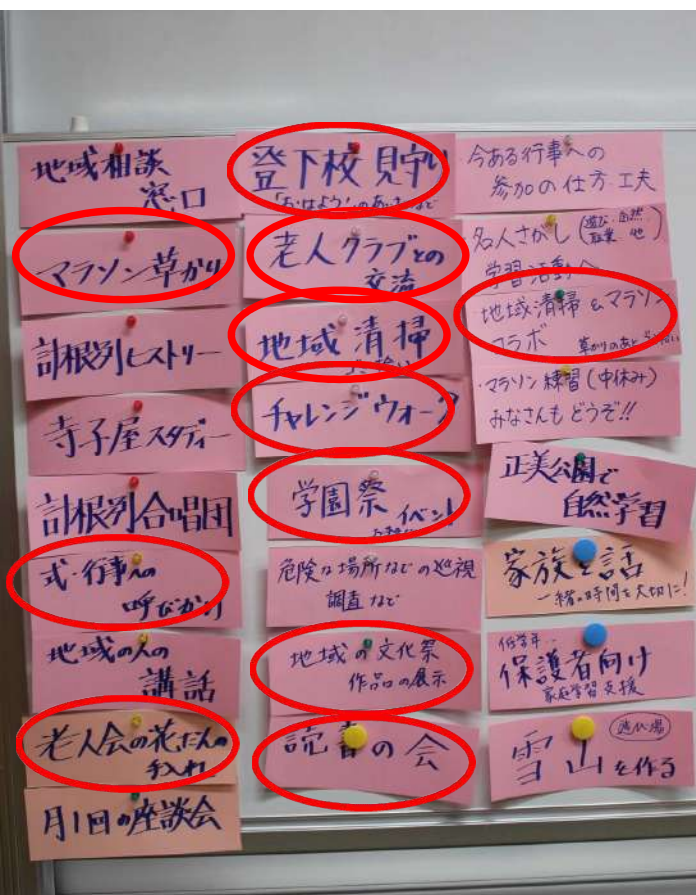
「夢を紡ぐ力」

- ① より良く生きる土台づくり
 - ② 社会の良き形成者の育成
（「自分」や「自分達」の損得を越える）
- ⇒ 「人としての総合力」の必要性

「学校運営協議会」の活動

熟議（話し合い）





■ 地域住民と生徒をつなぐ

まずは自らの足元を見つめ直し、課題を解決しながら、
地域とのつながりや関わりを意識した活動へと広げていく



☆ 子供にとっての魅力

- 自己肯定感、思いやる心
- 地域の担い手としての自覚

☆ 地域の人々にとっての魅力

- 生きがい、自己有用感
- 学校が地域のよりどころに

「地域から学ぶ」「地域をつなぐ」「地域とともに考える」

■縦割り班による地域清掃活動を実現

◎特別委員会(8・9年)が「地域の人たちとともに汗を流し、
交流を深める地域清掃」を実現させた。



保護者同士や地域の人々との人間関係が構築
地域の中で子供たちが育てられているという安心感

29年度より
新制度で実施

■チャレンジ・ウォーク 北根室ランチウェイ 《長距離強歩》

CSメンバー・PTA・ランチウェイの会による全面協力で地域資源の活用



一日防災学校

老人会との交流





老人会との交流



読み聞かせ

読み聞かせ



幼稚園との交流

2017/07/20



赤ちゃんとの交流

「総合的な学習の時間」9年間を見通した指導計画の作成

平成29年度 中標津町立計根別学園 総合的な学習の時間 計画一覧表

学年	第3学年(70時間)	第4学年(70時間)	第5学年(70時間)	第6学年(70時間)	第7学年(50時間)	第8学年(70時間)	第9学年(70時間)
テーマ	『夢』 学びや生活の基礎となる力を身に付けていく期間		『志』 学びを追求し、人間関係を結ぶ力を身に付けていく期間			『誇り』 学びを伸ばし、自分の生き方を追求する力を身に付けていく期間	
地域・食育	<ul style="list-style-type: none"> ★木の学習 第3学年(15h)+第4学年(15h)=30h <ul style="list-style-type: none"> 校庭の樹木名調べ カルタ作り 樹木板作り ★計根別を知ろう 第3学年(15h)+第4学年(15h)=30h <ul style="list-style-type: none"> 計根別の自然探検 動植物 牧場、モア山 ★「カレーセーター作り」第3学年(15h)+第4学年(15h)=30h <ul style="list-style-type: none"> 農業高校と連携した栽培活動、調理体験 	<ul style="list-style-type: none"> ★バケツ稲プロジェクト(30h) <ul style="list-style-type: none"> 野外ハウスで決めた水稲栽培を行い、地域の気候と作物との関連について探求する。 ★川の学習(18h) <ul style="list-style-type: none"> ケナカ川の源流やそこに生息する動植物、サケやマスなどの生態や放流事業について、探求的な学習を行う。 一川についてのイメージマップ 一ケネカ川の生き物 一さけますふ化場見学 一調べ学習、誌の 一発表会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ★「創作料理作り」(30h) <ul style="list-style-type: none"> 自分たちで決めた料理を作るための作物をこれまでの学習経験を生かして栽培する。 一栽培計画、栽培活動 一調理計画、調理、体験のまとめ 一ふた打ち体験 一農業高校での酪農体験(中標津青年部連絡協議会) ★「北方領土学習」(14h) <ul style="list-style-type: none"> 「北方少年の交流」への参加 一専門員による説明、解説 一調べ学習、誌の 一調べ学習、誌の ★「農高意見発表会」参加(4h) 	<ul style="list-style-type: none"> ★「ふるさとを知る」(10h) <ul style="list-style-type: none"> 酪農体験や地域探求を通して、故郷を大切にすることを意識の醸成と地域社会とのより良い関係作りを目指して、 一農業高校での酪農体験(中標津青年部連絡協議会) ★「農高意見発表会」参加(4h) ★「農高実習発表会」参加(4h) 	<ul style="list-style-type: none"> ★「ふるさとを知る」(22h) <ul style="list-style-type: none"> 食の原点には命があること、その命を大切にすることを意識の醸成と地域社会とのより良い関係作りを目指して、 一酪農体験(酪農体験) 一酪農高校での酪農体験(酪農体験) 一酪農高校による出前授業 一「命を大切に」について 一酪農高校との意見交換 一酪農高校への参加 ★「農高実習発表会」参加(4h) 	<ul style="list-style-type: none"> ★「ふるさと活性化」(34h) <ul style="list-style-type: none"> 地域を活性化するためのアイデアを実践したり、提案にまで発表。 一地域活性化プロジェクト 一計根別チーム(酪農旅行) 一卒業制作に向けた情報収集と発表資料の作成 一ふるさと活性化卒業発表会 ★「農高実習発表会」参加(4h) 	
主要学習内容	中標津農業高校と連携した地域学習や食育学習(「計根別食育学校」)を展開、栽培活動や加工体験などを高校生と学ぶことで、ふるさと計根別を知り、故郷を大切にすることを意識を養っていく。						
キャリア	<ul style="list-style-type: none"> ★「地域清掃活動」(4h) ★「情報学習①」(5h) ★「どんな仕事がある?」(12h) ★「お仕事ハンドブック」を作る。(4h) ★「ようこそ学校へ①」(4h) 一「卒業は楽しい!」 一「卒業生とのかかわり」 一「名刺作り、体験授業の準備」 	<ul style="list-style-type: none"> ★「地域清掃活動」(4h) ★「情報学習②」(5h) ★「夢の式」に向けて(12h) 一調べ学習、発表準備 一5年総合発表会への参加 ★「ようこそ学校へ②」(4h) 一「卒業は楽しい!」 一「卒業生とのかかわり」 一「名刺作り、体験授業の準備」 	<ul style="list-style-type: none"> ★「地域清掃活動」(4h) ★「情報学習③」(3h) ★「夢の式」(15h) 一宿泊する地域の素材を生かした問題解決的な学習。 	<ul style="list-style-type: none"> ★「地域清掃活動」(4h) ★「情報学習④」(3h) ★「研修旅行を創ろう」(15h) 一研修する地域の素材を生かした問題解決的な学習。 	<ul style="list-style-type: none"> ★「地域清掃活動」(4h) ★「職業学習」(7h) 一職業講話 一酪農体験発表会への参加 ★「福祉体験」(15h) 一高齢者体験 一老人クラブとの交流会 ★「立志式」に向けて(10h) 	<ul style="list-style-type: none"> ★「地域清掃活動」(4h) ★「職業学習」(4h) 一事前研修、事前訪問 一酪農体験(3日間の) 一花物作り、まとめ 一酪農体験発表会の実施 ★「我が誇り」の作成(3h) 	<ul style="list-style-type: none"> ★「地域清掃活動」(4h) ★「上級学校訪問」(20h) 一上級学校に対する理解と関心を深め、自分の進路に関して具体的なイメージを持つ。 一酪農旅行 一中標津高校、農高体験入学 ★「幼園実習」(5h) ★「我が誇り」の作成(3h)
地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ★木の学習 ★樹木園芸科 木育推進担当:鈴木さん ★計根別を知る ★中標津町立計根別学園 ★「カレーセーター作り」 ★中標津農業高校 	<ul style="list-style-type: none"> ★川の学習 ★内水田産地試験場 ★担当:奥野さん ★計根別さますふ化場(見学) 	<ul style="list-style-type: none"> ★「ふるさとを知る」 ★中標津手打ちそば同好会 ★「北方領土学習」 ★根室市北方領土対策課 	<ul style="list-style-type: none"> ★酪農体験、乳加工体験 ★中標津農業高校 ★「福祉体験」 ★計根別老人クラブ ★「職業講話」 ★NVESS ★町教養生産学習課 	<ul style="list-style-type: none"> ★ふるさとを知るの誇り ★中標津農業高校 ★根室地区農協青年部連絡協議会 ★会長:久保さん ★「職業講話」 ★NVESS ★町教養生産学習課 	<ul style="list-style-type: none"> ★ふるさと活性化 ★中標津農業高校 ★JA計根別、計根別 ★「上級学校訪問」 ★私立高等学校各種学校連合会 ★幼稚園実習 ★計根別幼稚園 	
夢を始める内容	<ul style="list-style-type: none"> ★「夢の式」(3月) ★「夢の式」を語る 一「こんな人になりたい」 一「こんな生き方をしたい」 	<ul style="list-style-type: none"> ★「志」を語る 一「何をしたいのか」 一「なぜそれがしたいのか」 	<ul style="list-style-type: none"> ★「志」を語る 一「何をしたいのか」 一「なぜそれがしたいのか」 	<ul style="list-style-type: none"> ★「志」を語る 一「何をしたいのか」 一「なぜそれがしたいのか」 	<ul style="list-style-type: none"> ★「志」を語る 一「何をしたいのか」 一「なぜそれがしたいのか」 	<ul style="list-style-type: none"> ★「志」を語る 一「何をしたいのか」 一「なぜそれがしたいのか」 	
夢を続ける内容	<ul style="list-style-type: none"> ★「夢」が「あこがれ」をこころに追求させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★「志」が「あこがれ」をこころに追求させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★「志」が「あこがれ」をこころに追求させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★「志」が「あこがれ」をこころに追求させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★「志」が「あこがれ」をこころに追求させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★「志」が「あこがれ」をこころに追求させる。 	
夢を続ける力	<ul style="list-style-type: none"> ○友だちと協力して学習や生活に取り組む。 ○自分のよきを見つめる。 ○自分の力で課題を解決しようとする。 ○将来への夢や希望を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○夢に対して思いやりの心を持ち、相手の立場に立って考え、行動する。 ○自分の個性や能力について理解を深める。 ○学校生活や友人関係の問題を考え、居心地のよい環境になるように解決策を考える。 ○学ぶことと働くことの意味について考えたり、今学習で学んでいることと将来とのつながりを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分から役割や仕事を見つけたら、分担したしながら、周囲と力を合わせて行動する。 ○自分の個性や能力を客観的に見ることが出来る。 ○夢や希望の実現に向けて課題を自覚し、その解決を目指す。 ○望ましい職業観を身に付ける。 				
まとめ	<p>「心に火をつけ」「人間力を鍛える」 「何を知っているか、何が出来るか」 → 「知っていること、できることを使う方法」 → 「どのように仲間(地域・社会・世界)と関わり、より良い人生を送るか」にまで思いを馳せる子</p>						

☆区切りごとにテーマと目標を設定した。

◎9年間の学びの連続性を踏まえた探求的な学習、協働的な学習を行うことができるカリキュラムを編成。

■実現させる～「協働」「ともに汗を流す」

◎保護者や地域住民の声を丁寧に聴き、
ともに新しい学校づくりを行うという姿勢を大切にしている。



「地域から学ぶ」「地域をつなぐ」「地域とともに考える」



計根別アピール

「地域を知って地域に誇りをもち、直接・間接問わず、地域に貢献できる子ども」

• **農高**(生徒3、引率3、Bジャーキー)

• **計根別総合振興対策協議会**(原材料費・旅費)

• **JA**(広報担当者2、チーズの提供)

◆9月14日(金)修旅最終日、JR札幌







PTA・地域・学校が
学校(子どもの成長)を中心に
それぞれの立場で協力し合い
よりよい社会を形成すること

子どもがふるさとを愛し
ふるさとに誇りを持ち、
いきいきと成長していく土台となる

ご清聴,ありがとうございました

